

市民の意見を生かした 貨物駅跡地の活用は

問 貨物駅跡地の活用に向けた検討と市民からの意見収集の取組は。

答 市長 貨物駅跡地の活用については、沼津市中心市街地まちづくり戦略に基づき、防災公園としての整備を検討している。これまで、有識者や市民の代表で構成される中心市街地まちづくり戦略会議のワーキンググループにおいて、防災機能や平時の公園機能等について検討を進めてきた。今後は、地域住民や市内の学生等を対象としたワークショップの開催や市民アンケート、ホームページ掲載等により、広く市民の意見を

小澤 隆



を収集し、計画策定に生かしていく。

問 学校におけるいじめの防止には、いじめの犯罪性を周知することが重要であると考えますが、本市の取組は。

答 教育長 市内小中学校では、道徳の授業や人権教育により、いじめの防止に取り組んでいるが、学校生活においては、心身ともに成長過程にある児童生徒の些細な行動がいじめにつながるおそれがある。そのため、教職員は、生徒指導の研修会等を通して、いじめは犯罪であるとの共通認識を高め、学年集会等で児童生徒に対し周知している。

井原 三千雄



問 本市のコンベンションのまちづくりに対する認識と今後の取組は。

答 産業振興部長 プラサヴェルデにおける国際的な会議の開催や、新総合体育館におけるプロスポーツリーグやフェンシング全国大会等の開催は、本市の魅力の全国的なPRにつながることから、コンベンション政策の推進は、本市の都市イメージの向上に有効であると認識している。地域最大のコンベンション施設であるプラサヴェルデや新総合体育館等を有する県東部の拠点都市であることに加え、首都圏に近いという地理

的優位性や自然と歴史的資源を最大限活用し、今後もコンベンションの誘致に努めていく。

問 沼津駅周辺総合整備事業の進展に伴い、その事業効果を市民に対し発信する取組は。

答 沼津駅周辺整備部長 鉄道高架をはじめ、道路や街区整備の進展によるまちのにぎわい創出や、利便性の向上などの事業効果を市民が感じられるよう、ドローンによる空撮やVR等を活用するなど、あらゆる媒体を駆使し、幅広い世代に向けた情報発信に努めていく。

コンベンションシティ沼津の 今後の戦略は

世界かんがい施設遺産登録後の 香貫用水の利活用は

問 世界かんがい施設遺産に登録された香貫用水の今後の利活用は。

答 市長 世界かんがい施設遺産に登録された香貫用水を広く周知するため、市内各地でパネル展を開催するほか、香貫山や狩野川などを含めた周辺マップの作成、ガイドツアーの開催などにより、交流人口の増加につなげていく。また、国・県や、世界かんがい施設遺産が所在する自治体と連携し、広域的な周知を図るとともに、本遺産を活用した地域の活性化に努めていく。

尾藤 正弘



用五則改正の主な内容とその周知は。

答 企画部長 従前は「安全ルールを守る」とされていた表現が、「交差点では信号と一時停止を守って、安全確認」、「夜間はライトを点灯」、「飲酒運転は禁止」など具体的な表現に変更されたほか、子供に限定されていた自転車乗車時のヘルメット着用推奨の対象が、全年齢に拡大された。自転車乗車時のヘルメット着用は、命を守る上で大変有効であることから、チラシの配布や関係機関と連携した交通教室の開催など、様々な機会を捉えて周知を図っていく。

岡田 進一



問 子育て支援の観点から見た国民健康保険料の均等割保険料に対する認識は。

答 市民福祉部長 国民健康保険は、加入している全ての世帯員が等しく保険給付を受けられることから、原則、加入人数に応じた均等割保険料を徴収する必要があると考えている。その中で、低所得世帯に対しては、均等割保険料と世帯別平等割保険料について、所得に応じて七割・五割・二割の軽減措置を適用してきたほか、令和四年度からは、未就学児に係る均等割保険料を五割に軽減する措置

を開始した。これらの軽減制度を世帯の状況に応じて適用することで、子育て世帯の経済的負担は軽減されているものと認識している。

問 未就学児の均等割保険料の軽減措置を未成年まで拡大する考えは。

答 市民福祉部長 国民健康保険事業は、県の運営方針の下、安定した財政運営や広域化・効率化の推進を図っている。均等割保険料の軽減措置を未成年まで拡大することは、県の運営方針を踏まえると、財源の問題から認められないため、現状では困難と考えている。